

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	県営水道受水事業				
根拠法令等	水道法		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	水道水を
手段	愛知県から購入することにより
想定する成果	安定的な水道水の供給の確保を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
受水量	10,624,025	10,765,646	11,100,000
受水費	756,871,217円	852,735,110円	825,358,212円
節水日数	119日	54日	50日

成果指標

成果指標名	節水日数率	対前年受水率
成果指標の説明	節水日数 / 365日 × 100	当年度受水量 / 前年度受水量 × 100

事業の進捗状況 (水道事業会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	13.7%
	実績	32.6%	14.8%	-
成果指標	計画	-	-	103.1%
	実績	98.6%	101.3%	-
事業費	事業費	757,573	853,315	826,053
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	759,245	854,968	827,737
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	759,245	854,968	827,737

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	降雨量が減少するなど天候に左右され、結果節水が求められ安定的な受水にはなっていない。
経済効率性	2	2	県の決算に左右され、料金改定があったので受水料金は上がってしまった。
事務効率性	3	3	100%受水で、支払事務のみで効率的。
必要性	3	3	公営企業として水道事業を営む以上、受水事業を行わなければならない。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市民参加の水源視察等を実施し、受水への理解を深めているが、回数を多く実施できない。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	市民生活の根幹をなす事業のため、最重要である。
------	---	---	-------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

100%受水のため、改善要素なし。

今後改善すべき点

ピーク時の急激な使用量を抑えるため、常に水量チェックをする。また、自己水源を確保し、渇水期に備えるようにしたい。
--

平成16年度予算に反映する項目

受水料金の基本料部分の根拠となる承認基本水量を減少することができたので、受水費用が減額する。平成13年度・39,100 /日、平成14年度・40,100 /日、平成15年度・37,300 /日
--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	待機業務委託事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	夜間・休日の漏水通報、開閉栓の要望に対して
手段	水道工事事業者・職員を待機させることによって
想定する成果	安定した水道水の供給の確保を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
出勤回数	67回	89回	80回
待機業務委託料	6,610,000円	2,960,000円	2,968,000円

成果指標

成果指標名	出勤1回当たりの委託料単価	待機水道工事事業者稼働率
成果指標の説明	待機業務委託料 / 出勤回数	出勤回数 / 待機業務日数 × 100

事業の進捗状況 (水道事業会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	84,775円
	実績	197,313円	66,697円	-
成果指標	計画	-	-	21.9%
	実績	18.4%	24.4%	-
事業費	事業費	6,710	3,060	3,068
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	7,546	3,886	3,910
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,546	3,886	3,910

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	漏水に関しては、現在100%対応できているが、開閉栓の申込の場合、受付時に処理が平日の時間中になることをお願いをしている。
経済効率性	2	2	待機することにより非常時等に備えるということで、出勤件数のわりに費用がかかる。
事務効率性	2	2	日直・宿直からの連絡で初めて動き出すため、現場到着までに時間がかかりすぎ、非効率。
必要性	3	3	無駄水を出さないためと施設の維持管理、二次災害や断水を防止のため必要である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	ほとんどが市民からの通報であり、関心は高い。開閉栓の申込に対しては、受付時に対応の困難性から原則として断っている。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	現時点では人海戦術でいくしかなく、水道工事のできるところと民間委託していく方向で検討する余地あり。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

水道工事業業者は、これまで水道工事店組合まで出勤して待機してもらっていたものを、各工事店での待機に変更し、委託料の軽減を図った。
--

今後改善すべき点

待機業務については、1～3事業者で年間を通して契約をしていきたい。できれば入札方式を取り入れていきたい。
--

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

職員に支払う待機業務手当分で、業者に委託できるなら委託していきたい。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2206
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	水道料金等未収金収納管理事業		
根拠法令等	蒲郡市水道事業給水条例	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	蒲郡市民及び市内在住の上水道受水者のうち料金未納者に対して
手段	督促状の発送、各戸集金、給水停止措置等を実施することにより
想定する成果	上水道料金等の収納率アップを図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
調定金額	1,576,448,446円	1,656,955,926円	1,660,000,000円
収納金額	1,556,997,374円	1,638,018,848円	1,641,000,000円
未収金	19,451,072円	18,937,078円	19,000,000円
収納率	98.77%	98.86%	98.86%

成果指標

成果指標名	未収金率	1人当り未収納額
成果指標の説明	未収金額 / 収納金額	未収金額 / 職員数 (2.45)

事業の進捗状況 (水道事業会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	1.14%
	実績	1.23%	1.14%	-
成果指標	計画	-	-	7,755千円
	実績	7,939千円	7,729千円	-
事業費	事業費	2,997	2,898	2,800
	人件費	20,477	20,244	20,634
	(人数)	2.45	2.45	2.45
	合計	23,474	23,142	23,434
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	23,474	23,142	23,434

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	経済の動向により、倒産等で支払不納になる場合があるので完全にゼロにならない。
経済効率性	2	2	未納者には、個々の事情があるので、経済的効率を追求すると収納額と公平性との矛盾が生じる。
事務効率性	2	2	事務の効率化を図るため、未納者の事前個別集金を優先的に実施している。
必要性	2	2	事業の財源確保、平等負担の立場から絶対に必要であるが、一部は民間委託できるものもある。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	未納料金に対する滞納整理業務は、一部私人委託業務としている。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	公共料金の収納事務は、公営事業の財源確保、使用者の料金公平負担の立場からも大事な業務であるので、常習的な未納者には、警察官OB等を非常勤職員として登用しても良いと思う。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・2期分(4月分)の未納者に対し、生活状況、収入状況等を考慮して実施している。
- ・料金の支払は、市内の金融機関以外にコンビニでの24時間納入も行っている。

今後改善すべき点

- ・未納金状況を常に把握し、常習的な悪質未納者を出さないように努める。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

- ・市民からの収納事務は、職務といえども知人等の場合もあって辛いものがある。
- ・長期間にわたっての料金収納事務担当は、市民感情からも避けて欲しい。
- ・常習的な悪質未納者には、警察官OB等を非常勤嘱託職員として収納事務に登用したらどうか。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2206
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	給水装置管理事業		
根拠法令等	蒲郡市水道事業給水条例	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	蒲郡市民及び市内在住の上水道受水者に
手段	水道給水装置の開・閉栓により
想定する成果	市民への水道水供給を円滑にする。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
給水人口	82,956人	82,725人	83,000人
開・閉栓数	2,831栓	3,383栓	3,400栓
給水量	10,076,552	10,317,737	10,500,000

成果指標

成果指標名	職員1人当り取扱い栓数	職員1人当り給水量
成果指標の説明	開・閉栓数 / 職員数 (2人)	給水量 / 指定職員数 (25人)

事業の進捗状況 (水道事業会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	1,416栓	1,692栓	1,700栓
成果指標	計画	-	-	-
	実績	403.1千	412.7千	420.0千
事業費	事業費	2,138	1,910	1,950
	人件費	15,881	15,700	16,002
	(人数)	1.9	1.9	1.9
	合計	18,019	17,610	17,952
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	18,019	17,610	17,952

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	給水人口の増減により、給水量、給水栓数等、目的の達成度が大きく影響する。
経済効率性	2	2	開・閉栓業務、料金算定等は、近年外部へ委託する市もあり、職員給与と比較検討する必要がある。
事務効率性	2	2	開・閉栓の順路を考慮し、効率的に実施する。電算による料金検索等が簡単・迅速に行えるよう改良する。
必要性	2	2	開・閉栓業務及び料金算定等は、上水道普及率から必要不可欠であるが、一部は民間委託も可能である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	開・閉栓業務等は特殊であり、市民の参加はない。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	B	公営企業として、将来的にも赤字を出さないように努力しなければならない。市民サービスの低下を懸念しないでよい業務は、経済効率を考慮して、外部委託することもひとつの選択肢であると思う。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・窓口だけの受付事務でなく、開・閉栓、名義変更等、簡易なものは電話での受付も行っている。
- ・料金の支払は、市内の金融機関以外にコンビニでも行っている。

今後改善すべき点

- ・迅速かつ効率的な電算処理システムを早期に導入し、市民サービスの向上に努める。
- ・大きな責任を伴わない簡単な業務は、一部を外部委託することも検討課題である。

平成16年度予算に反映する項目

- ・将来の長期的展望の中で、より効率で迅速に事務処理ができるよう、他市の現況を十分研究し、新システム導入の予算を要望する。

組織、人員に関する提言

- ・所属職員の数から、時間外及び休日等における細かな対応は非常に困難である。
- ・休日等の待機当番は、緊急性の高い漏水等に対してであり、開・閉栓等については、平日の受付時間内に限る旨の周知を、日・宿直当番者に徹底して欲しい。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	湯水に強いまちづくり事業				
根拠法令等	蒲郡市雨水利用簡易貯留槽購入費助成金交付要綱・蒲郡市井戸掘り事業助成金交付要綱		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	本市に住所を有する個人及び法人に
手段	雨水簡易貯留槽の購入または井戸掘りに対する助成事業を実施することにより
想定する成果	湯水時における節水と節水意識の啓発を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
助成金額	42,000円	98,000円	535,000円
補助金の交付件数	3件	7件	20件

成果指標

成果指標名	助成金の交付率	給水栓数に対する割合
成果指標の説明	助成金の交付件数 / 予定交付件数 × 100	累積交付件数 / 給水栓数 × 100

事業の進捗状況 (水道事業会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	15.0%	35.0%	-
成果指標	計画	-	-	0.3%
	実績	0.2%	0.2%	-
事業費	事業費	45	101	538
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,717	1,754	2,222
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,717	1,754	2,222

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	簡易貯留槽は購入先を限定していたのをフリーにしたため、設置希望者が増加した。
経済効率性	1	1	
事務効率性	2	2	設置希望者が不明なため、効果的なPRができない。
必要性	3	3	毎年湧水に見舞われる本市にとっては、節水意識の高揚・節水対策のため必要。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	補助率が低く、申込が少ない。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	恒常化している湧水の被害を少しでも減少させる補完事業である。
------	---	---	--------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

簡易貯留槽本体の購入先指定を外し、メーカー・形式等を限定せず、申請者の希望で選択できるようにした。

今後改善すべき点

井戸掘り事業の助成額が事業費に比べ少なく、増額をしていきたい。また、水質検査の結果で交付決定がなされるので、井戸掘り実施イコール助成に改善していきたい。

平成16年度予算に反映する項目

井戸掘り事業の助成金については、増額要望をしたい。簡易貯留槽助成事業については、助成個数を減らしていきたい。

組織、人員に関する提言

人に優しいまちづくり担当ともタイアップしていきたい。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載